

人口 13,791人
 面積 48.56km²
 財政 1,195,808千円

- 施策
- ①豊かで明るく住みよい生活環境の整備
 - ②三角港再開港
 - ③生産基盤整備と経営の近代化
 - ④教育施設の整備
 - ⑤道路網の整備と観光開発
 - ⑥水資源の確保

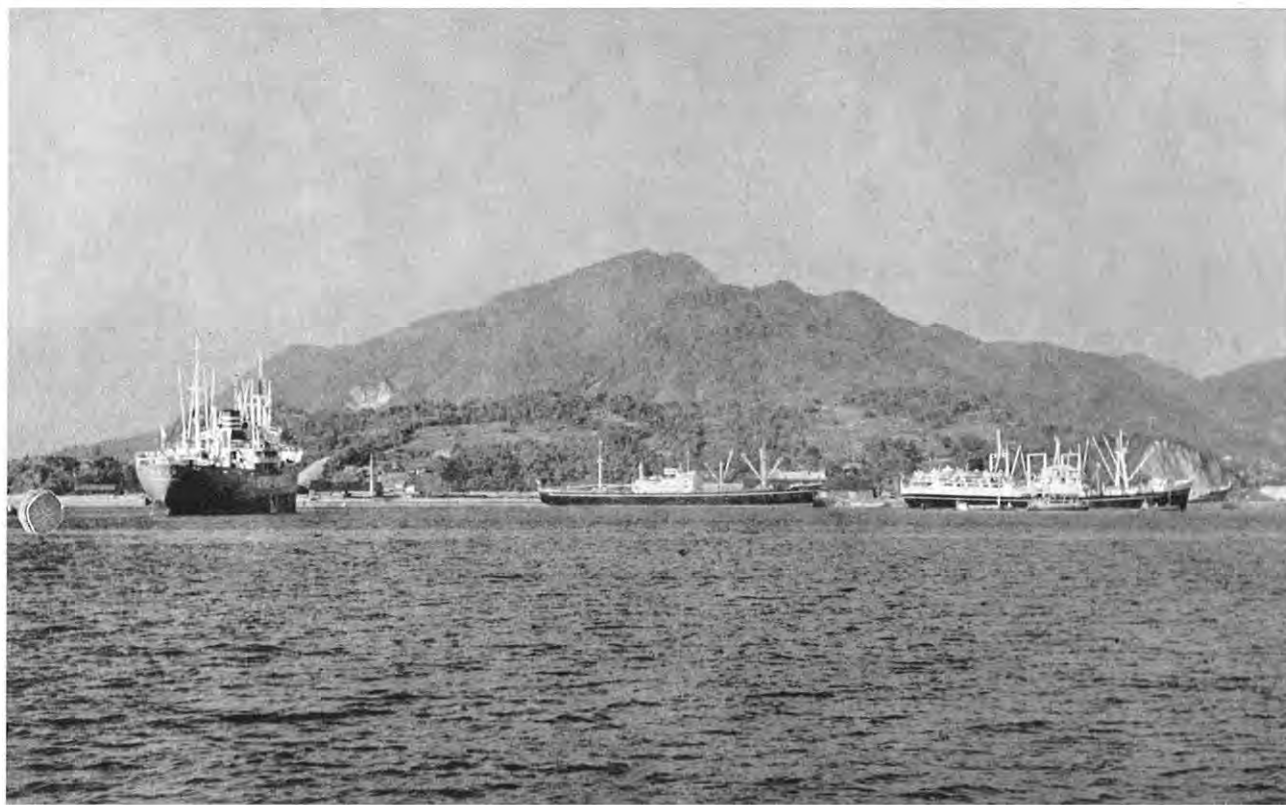
三角町は宇土半島の突端部に位置し、宇土山脈を背陵に東に大岳山（四百七十七メートル）、西に三角岳（四百六十七メートル）があり、遠く雲表にそびえる雲仙岳と相対している。

山麓は東南にのびて不知火海に、西は有明海にその影を渡し、南は浦の急勾配となつて海底深く没入し、天草諸島と相擁して、山紫水明の三角港を形成している。

又、大岳山、三角岳に抱かれたなだらかな南斜面の丘陵地帯は、気温、降水量と海岸温暖地帯の好気象条件に恵まれ柑橘栽培に最適地である。

本町は、昭和三十三年二月一日町村合併促進法により旧三角町、旧戸馳村、旧郡浦村、旧大岳村の一町三村が合併して誕生した。

◇三角港
 三角港は、開港以来八十八年の歴史を有する本県で最も古い外国貿易港であり、重要港湾である。又、国際観光ル



▲三角港の外国船風景

トの拠点港として重要な役割を果たしている。

三角港の歴史は明治十七年にさかのぼる。当時の県令富岡敬明がオランダ人の水理工師ムルドルの意見を聞き、当時の金で三十万円の巨費を投じて明治十七年五月に築港工事に着手し、同二十年六月に竣工、同年八月に開港した。

明治二十二年十一月特別輸出港として開港、明治三十二年二月、貿易港の指定同年十二月二十五日に九州鉄道株式会社三角線の開通に伴い、西港は漸次衰退の状況となり東港に勢力が移った。

三角再開港と 日本一のオレンジベルト

港湾の整備等がなされ、現在の三角港を形成した。アメリカ、東南アジア等との貿易で栄え、「みすみみなど数え唄」に出船入船絶え間なく、青い煙突異人船と唄われるほど熊本県の玄関港としてその名をはしりまわった。

三角港における輸入品目は木材、合板、糖蜜等である。相手国は東南アジア、韓国、台湾、インドネシア、イラクなどとなっている。輸出面では、化粧合板、人造プラスチック、機械、衣服類である。三角港は加工製品、農作物の積出し港として、木材、糖蜜の輸入港としての性格をもって発展してきたが、昭和六十年開港をめざす熊本新港の完成によ



▶県下随一の太田尾海水浴場、年間利用者二十万人
 ◀味覚日本一の三角ミカン



てその性質は大きく変化し本港は大きな打撃を受けるであろう。しかし昨年の県議会に於ける沢田知事の「熊本新港建設で三角港が絶対さびれないよう配慮する」との力強いご答弁を聞いたとき本港再開港に対する自信をとりもどすと共に県の積極的施策に期待を寄せるものである。

町では三角町総合開発審議会を発足、衆知を集めて再開港に取りくんである。

◇産 業
 主要産業である農業については、古くから黒砂糖の生産が盛んであった。文政年間高橋伊左衛門という人が阿波国よりサトウキビを取りよせ砂糖を生産普及させ、明治末期の生産高は二十三万斤、当時の金で一萬六千円をあげていた。

昭和三十一年農山漁村建設総合対策により、高生産農業が模索され、海岸温暖地帯という気候風土は、柑橘栽培に最適地であることから果樹振興対策が本格的に推進され、第一次、第二次構造改善事業により現在では千三百ヘクタールにおよぶオレンジベルト地帯を形成し、県下有数の大集団地となり、本町農業の基幹を占めるに至った。

昨年の生産量二万五千トン、二十五億円の生産高をあげる一方市場においては「三角みかん」の名柄を確立した。今後は、生産基盤の整備、大規模果樹生産流通基地整備事業、農村総合整備モ



▶世界一の天門橋を航行する国道57号フェリー
 ◀泉質世界一を獲得したこともある金桁温泉



デル事業等の推進により「日本一の三角みかん」の生産をめざしている。

◇教 育
 本町は地形的な関係で幼稚園一、小学校六、中学校二がある。教育行政は人づくりの基本であり一日たりともおろそかにできない重要事であり従って教育施設の整備充実が最大の努力を重ねており、本年度大岳小学校改築に着手、年度末落成の予定である。

又、社会教育については昭和四十八年公民館の完成を「人づくり」の拠点としてその役割りを果たしており、一方健康な体力づくりを目標に総合グラウンド建設が進められ、五十一年度竣工の予定である。

◇観 光
 三角港は九州における貿易港であると共に観光港としての名声を高めた観光客の往来は繁く、別府、阿蘇、雲仙を結ぶ九州横断観光ルートの要衝として、又、天草架橋完成後は雲仙天草国立公園の起点として観光三角の名を高めている。

又、現在国で計画されている九州遊歩道（天草へ通じるコース）と宇土市、不知火町、本町の一市二町で進められておる宇土半島スカイラインコース（宇土半島を屋根つたいに通じるコース）の実現によって本町観光が更に飛躍することが大いに期待されている。

本町はかゝる立地条件から恵まれた自然環境を生かした一大海洋レジャー基地の建設が現在調査研究されている。

本町観光を紹介すれば次のものがあ

- ◎三角岳
- ◎大田尾・若宮海水浴場
- ◎金桁温泉
- ◎釣 舟
- ◎磯 釣
- ◎天草五橋遊覧
- ◎ミカン狩り